

キャリアアッププログラム2020（3学期）講座シラバス

【エントリー科目】

科目名	よくわかる行動経済学入門～行動経済学はおもしろい！	
	2017年ノーベル経済学賞「行動経済学」について学んでみたいあなたのために	
受講対象者	経済学を初めて学ぶ人、行動経済学に興味のある人、行動経済学を体系的に学びたいと思っているビジネスマンの方、物事を理性ではなく感情で決めることが悪いことだと思っている人。	
講座概要	複雑な社会現象をできるだけシンプルに理解するため、経済学はさまざまな仮定を置いています。「人々は合理的に行動する」という前提のもと、経済理論が成り立っているのです。しかし、この前提に疑問を感じ、人間の心理や行動に焦点をあて、その特徴を明らかにしていこうとするのが行動経済学です。この授業においては、さまざまな事例から、行動経済学が何を明らかにしているのかをご紹介します。	
到達目標	行動経済学の大まかな枠組みをつかむことを目標とします。行動経済学だけでなく標準的な経済学の考え方も確認していきましょう。	
授業計画	第1回	行動経済学とはどのようなものか
	第2回	ヒューリスティクス：私たちの意思決定には癖がある？
	第3回	時間選好：夏休みの宿題をいつ終わらせましたか？
	第4回	お金の使い道は変えられない？：メンタル・アカウンティング
	第5回	人間の行動はそう簡単には変わらない：ナッジ
	第6回	行動経済学のおもしろさに迫る！
授業の形式	座学とディスカッション（演習）併用	
授業の進め方	毎回、プリントを配布します。講義はパワーポイントとレジュメで行いますが、適宜、質疑応答を交えるなどして理解を深めます。	
教材などの追加負担	教材の負担はありません。参考文献としては、以下の2冊をご紹介します。 ・『行動経済学 入門』筒井義郎、佐々木俊一郎、山根承子、グレッグ・マルデワ、東洋経済新報社、2017年刊、2,400円 ・『予想どおりに不合理的』ダン・アリエリー、熊谷淳子（訳）、早川書房、2018年刊、900円	
受講者へのメッセージ	行動経済学は、「経済学」という考え方の枠組みからスタートし、人間の心のメカニズムや人間行動の非合理性に着目した学問です。子育てからビジネスにまで幅広く応用が可能な分野です。ぜひ、行動経済学のおもしろさを十分に楽しんでください。	
講師紹介	<p>山根智沙子（やまね ちさこ）経済学科 准教授</p> <p>広島県出身。研究分野は、理論経済学と行動経済学。2007年、広島大学大学院社会科学研究所博士後期課程修了 博士（経済学）。新潟産業大学 講師、岡山商科大学 准教授を経て、2018年より現職。最近では、行動経済学的アプローチを用いて、地域間格差や地域移動についての研究をしている。CSR経営・環境経営、環境管理会計、企業倫理、BCP（事業継続計画）等の研究を行っている。</p>	